

グローリー株式会社
2025年3月期 第3四半期累計期間 決算説明資料

[説明者]

- ・代表取締役社長 原田 明浩
- ・経営戦略本部長 田中 千也

本日の内容

2025年3月期 第3四半期累計期間

1 | **決算ダイジェスト**
代表取締役社長 原田 明浩

2 | **決算概要**
執行役員 経営戦略本部長 田中 千也

2025年3月期 通期

3 | **連結業績予想**
執行役員 経営戦略本部長 田中 千也

2025年3月期 第3四半期累計期間

1 | 決算ダイジェスト

代表取締役社長 原田 明浩

「決算ダイジェスト」

説明者：代表取締役社長 原田 明浩

2025年3月期 第3四半期累計期間 決算ダイジェスト

GLORY

2025年3月期 第3四半期累計期間 連結業績

【売上高】 **2,800** 億円 【営業利益】 **293** 億円 (のれん償却前利益 **357** 億円)

前年同期比 +203 億円 (+7.8%)

前年同期比 -60 億円 (-17.0%)

- 海外市場での販売が増加 (海外売上高 前年同期比+266億円)
- 金融市場で前期発生した改造作業などの新紙幣発行対応 (特需) の反動により営業減益
- 売上高は第3四半期累計期間としては過去最高

2025年3月期 通期 連結業績予想

【売上高】 **3,700** 億円 【営業利益】 **320** 億円 (のれん償却前利益 **408** 億円)

前回予想比 +80 億円
前年同期比 -24 億円

前回予想比 +20 億円
前年同期比 -192 億円

- 通期業績予想は、前回予想 (11月7日) から上方修正
- 国内外におけるセルフ化ニーズの継続、海外市場の収益性改善が要因

ダイジェスト

連結業績の概要

2025年3月期 業績予想

参考資料

4

「2025年3月期 第3四半期累計期間 決算ダイジェスト」

(2025年3月期 第3四半期累計期間 実績)

・売上高 **2,800** 億円

・営業利益 **293** 億円 (のれん償却前営業利益 357 億円)

海外市場では2024年1月に買収したフルイド社の連結会計への取り込みやリテール市場を中心に主要製品の販売や保守売上高が増加

国内市場では流通・交通市場で新紙幣発行に伴う製品更新や改造作業が想定より増加。前期までに対応が完了した

金融市場では反動により大幅な減益。

売上高は第3四半期累計期間としては過去最高

(2025年3月期 通期業績予想)

・売上高 **3,700** 億円 (前回予想 3,620 億円)

・営業利益 **320** 億円 (前回予想 300 億円)

通期の業績予想を上方修正 (前回11月7日公表)

第3四半期累計期間までの業績結果、及び国内外の小売店舗での業務効率化を目的としたセルフ型製品・サービスへの堅調な需要の継続、米州における保守事業の内製化の進展による収益性の改善を反映

→ トピックス

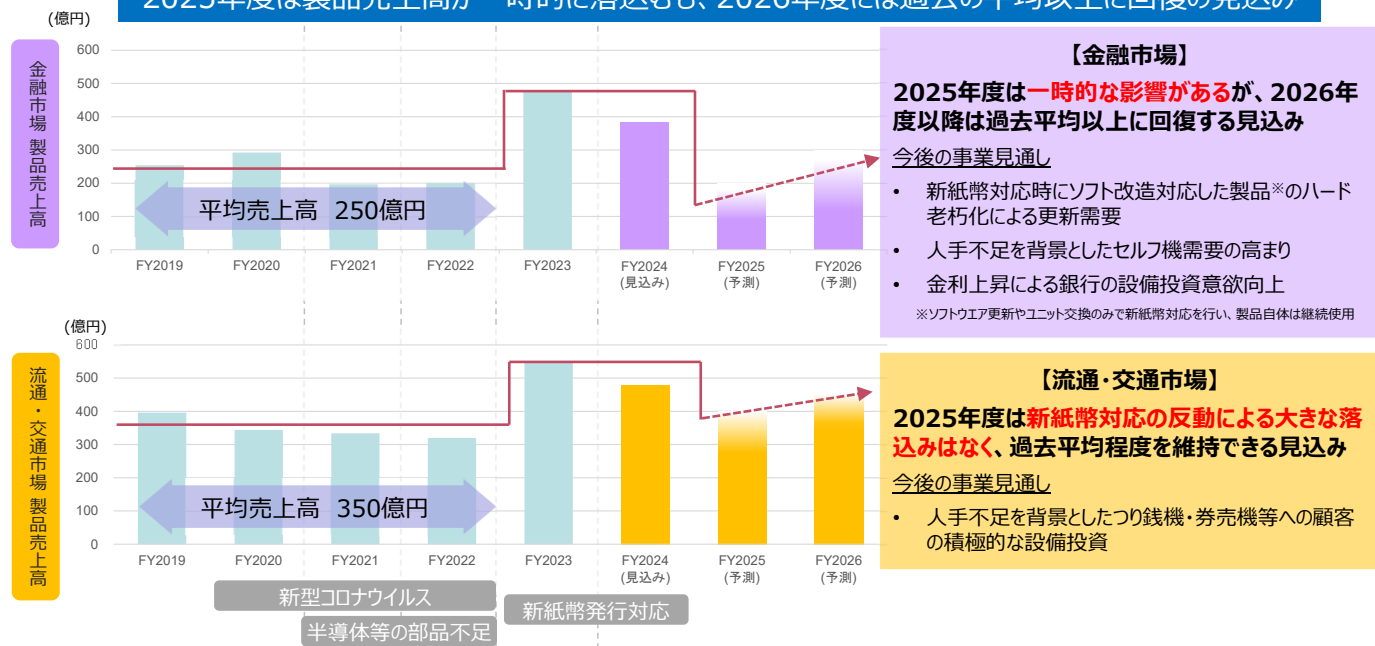
- ① 新紙幣発行対応後の製品売上高見通し（国内）（P6）
- ② 海外大口案件（P7）
- ③ リカーリング売上高（P8）
- ④ アクレック社の事業成長（P9-10）
- ⑤ アメリカへの製品輸出状況（P11）

「2025年3月期 第3四半期累計期間 トピックス」

- ① 新紙幣発行対応後の製品売上高見通し
- ② 海外市場の大口案件の状況
- ③ リカーリング売上高の状況
- ④ アクレック社の事業成長について
- ⑤ 米国への製品輸出状況について

トピックス1 新紙幣発行対応後の製品売上高見通し（国内）

2025年度は製品売上高が一時的に落ち込むも、2026年度には過去の平均以上に回復の見込み



【金融市場】
 2025年度は一時的な影響があるが、2026年度以降は過去平均以上に回復する見込み
 今後の事業見通し

- 新紙幣対応時にソフト改造対応した製品※のハード老朽化による更新需要
- 人手不足を背景としたセルフ機需要の高まり
- 金利上昇による銀行の設備投資意欲向上

※ソフトウェア更新やユニット交換のみで新紙幣対応を行い、製品自体は継続使用

【流通・交通市場】
 2025年度は新紙幣対応の反動による大きな落込みはなく、過去平均程度を維持できる見込み
 今後の事業見通し

- 人手不足を背景としたつり銭機・券売機等への顧客の積極的な設備投資

トピックス1 「新紙幣対応後の製品売上高の見通しについて」

（金融市場）

新紙幣の発行前の平均売上高は250億円程度

2023年度は新紙幣発行に伴う需要、2024年度は大口商談により売上高増加

2025年度は一時的に更新需要が落ち込む。その後は新紙幣対応をソフトウェアの更新などの改造で対応し、製品自体は古い機械をそのまま使用している顧客の更新需要の拡大を見込み

また、人手不足対応によるセルフ型製品の需要増加や金利上昇を背景とした金融機関の設備投資意欲向上により、2026年度には2022年度以前の平均売上を上回る水準まで回復する見通し

（流通・交通市場）

新紙幣の発行前の平均売上高は350億円程度

2025年度は労働力不足や賃金上昇に伴うセルフ化ニーズが継続し、大きく落ち込まない見通し

顧客のつり銭機や券売機等への積極的な投資を見込む

2026中期経営計画で注力市場と位置付けている飲食市場などへの販売拡大もあり、2025年度以降も過去平均レベルの売上高を維持できる見通し

トピックス2 海外大口案件

GLORY

海外大口案件の進捗状況

※青文字の数値は、前回公表時（2024年11月7日）から修正

案件	対象製品	2026年までの案件規模	今年度の進捗状況		
				1-3Q実績	年間予測
① 米国大手グローバル リテラーから大口受注	紙幣入出金機 CI-300BX 	5,300台			
			受注(台)	上期実績 1,600 → 5,300	5,200 → 5,300
			うち納品(台)	上期実績 1,000 → 2,200	3,000 → 3,300
② イタリアポスト向け 大口商談獲得	窓口用紙幣入出金機 GLR-200 等 	10,000台			
			受注(台)	2,160	2,160
			うち納品(台)	0	200 → 150
③ メキシコ大手リテラー OXXO (オクソ) から 大口受注	フロント向け紙幣硬貨 入出金システム CI-50B+ CI-10CX 	未定 ※オクソの店舗数 2万店以上			
			受注(セット)	上期実績 2,000 → 3,000	2,300 → 3,300
			うち納品(セット)	1,000	1,600 → 1,000

ダイジェスト

連結業績の概要

2025年3月期 業績予想

参考資料

7

トピックス2 「海外大口案件の進捗について」

① (米国大手グローバルリテラー)

案件全体の5,300台を受注。納品も着実に進み2,200台が完了。今期中に3,300台を納品予定
老朽化していた旧レボリューション社の製品から高品質なグローリー製品への置き換えが進み、故障などのトラブルに伴う通報率低下につながり、米州保守事業の利益改善に寄与

② (イタリアポスト)

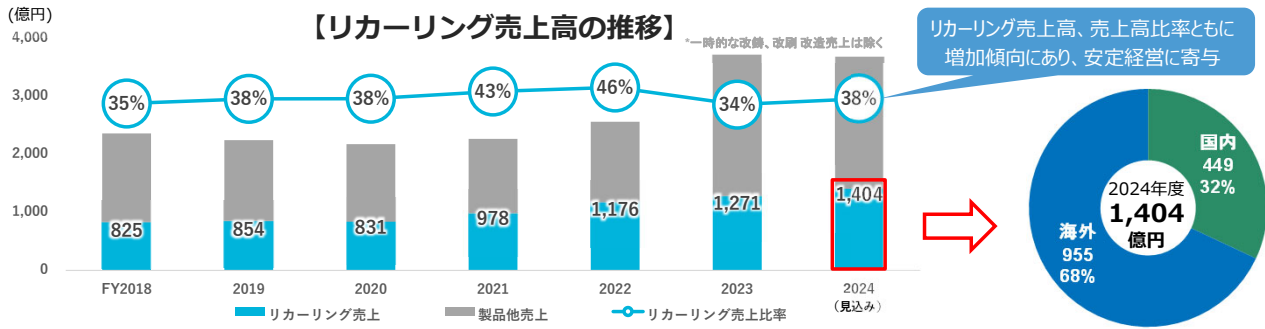
前回から大きな変動はなし

顧客の都合により今期の納品予定台数が減少しているが、納入開始に備え、現在ソフトウェアの接続テストなどを準備中

③ (メキシコ大手リテラーOXXO)

フロント向け現金管理システムCIシリーズの受注については、前回から受注が1,000台増え年間受注見込みが3,300台に増加
顧客都合により、今期の納品計画数は減少しているが、案件規模の拡大に向け商談を継続

トピックス3 リカーリング売上高



	リカーリングの内容	24年度見込み	今後の見通し
海外	① 保守売上	786	製品販売の増加に伴い拡大
	② UBIQUILAR	3	リモートモニタリングの需要増加
	③ アクレック社	95	飲食店におけるDX強化
	④ フルイド社	62	UCP市場の成長
	⑤ その他	9	レンタルなどの需要継続
	合計 (リカーリング売上比率)	955 (45%)	(億円)

- ① 海外での保守契約、スポット保守など (アクレック社以外のグループ会社を含む)
- ② 通貨処理機の遠隔監視や店舗DXを支援するデジタルサービス
- ③ 保守やサービス使用料などのソリューション
- ④ UCP (Unified Commerce Platform) などのソフトウェア使用料

	リカーリングの内容	24年度見込み	今後の見通し
国内	① 保守売上	333	流通・飲食向け製品販売の増加による拡大
	② DMP	3	DXソリューション販売の増加
	③ 子会社での事業	67	システム販売の増加
	④ その他	46	レンタルなどの需要継続
	合計 (リカーリング売上比率)	449 (28%)	(億円)

- ① 国内での保守契約、スポット保守など (グループ会社を含む)
- ② 「BUYZO」などのDXソリューションサービス
- ③ 国内子会社が販売するシステム使用料など
- ④ 「ラクへだ」「ればこれ!」などその他サービス

ダイジェスト

連結業績の概要

2025年3月期 業績予想

参考資料

8

トピックス3 「リカーリング売上の詳細について」

2026中期経営計画の事業戦略として、リカーリングビジネスの充実による経営基盤の強化を掲げる
リカーリング売上は保守を中心に年々増加し、今年度は売上高全体の40%近くになる見込み
国内外の比率としては海外が約7割、国内が約3割

(海外)

一番大きなものは保守売上高。今後も価格の維持向上に努める

保守事業以外にも買収したアクレック社やフルイド社のリカーリング売上も多く、製品に紐づかないソフトウェア販売によるリカーリングビジネスが拡大

(国内)

保守売上高比率が高い

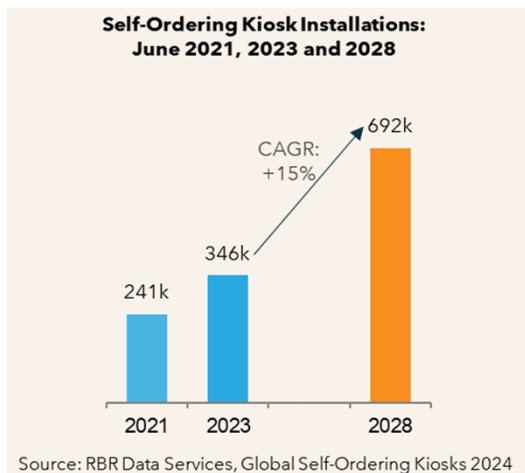
新領域事業の拡大に伴い保守以外のリカーリング売上が増加傾向

今後も安定収益につながるリカーリングビジネスの充実により、経営基盤の強化を図る

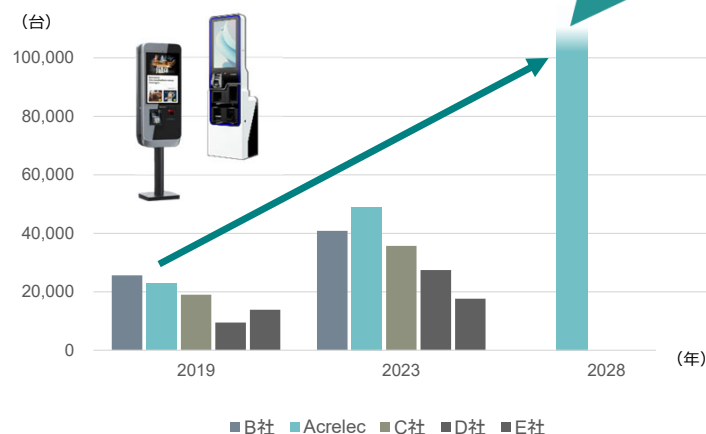
トピックス4 アクレック社の事業成長

1. セルフサービスキオスクの市場トレンド

セルフサービスキオスク市場の需要予想 (単位: 千台)
※世界的な市場調査レポートを発行しているRBR Data Services社による予測値



主要キオスクメーカーの市場稼働台数



セルフサービスキオスクの販売は今後も拡大

トピックス4 「アクレック社の事業成長について①」

(スライド左側グラフ)

世界的な市場調査レポートを発行しているRBR Data Service社によるキオスク端末の設置台数予測。2028年には2023年の2倍となる70万台近くのキオスクが稼働していることを予想

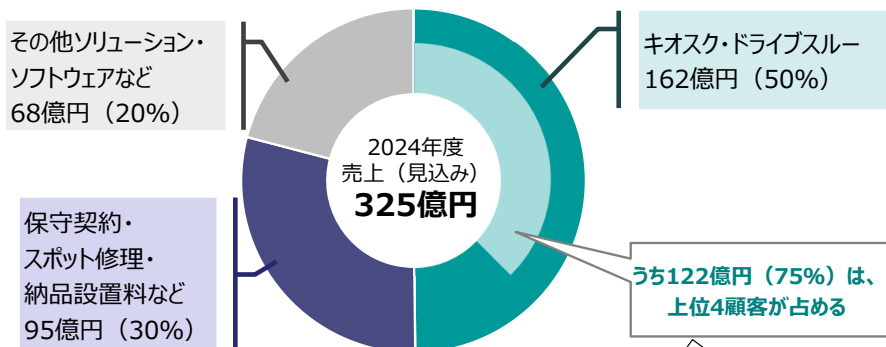
(右側グラフ)

キオスクを製造する主要メーカー別の市場稼働台数推移

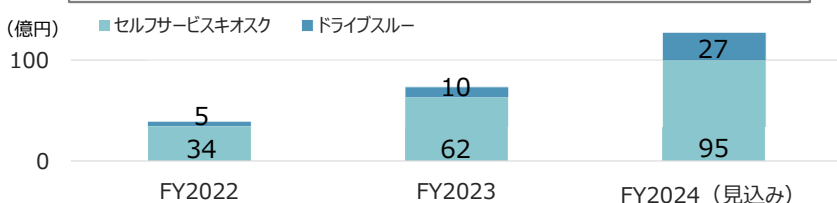
アクレック社は2023年に台数トップになる。近年、世界的な労働力不足や人件費高騰が顕著となり、今後もファストフードチェーンを中心にキオスクの導入が加速し、継続的な需要拡大が見込まれる

トピックス4 アクレック社の事業成長

2. 2024年度売上の内訳（見込み）



上位4顧客（総店舗数99,000店）へのキオスク・ドライブスルー売上



様々なDXソリューションにより店舗運営をトータルサポート

- セルフサービスキオスク**
 タッチパネル式のオーダー端末。注文から決済までを一元管理することで、店舗の省人化を実現
- ドライブスルー効率化システム**
 ダッシュボードを使ってドライブスルーの情報を把握。ボトルネックを特定し、お客様の待ち時間短縮
- レッドビスケット**
 決済端末、厨房、ドライブスルー等を一括管理するソフトウェアプラットフォーム
- ダブルチェック**
 配達前に袋詰めされた商品の重さを自動チェックし、詰め間違いを防止
- テーブルロケター**
 Bluetooth機能でお客様のテーブルを特定し、店員による効率的な配膳をサポート

トピックス4 「アクレック社の事業成長について②」

円グラフはアクレック社の2024年度売上高見込み325億円の内訳。

主要製品であるキオスクとドライブスルーの売上高は全体の半分(162億円)を占める

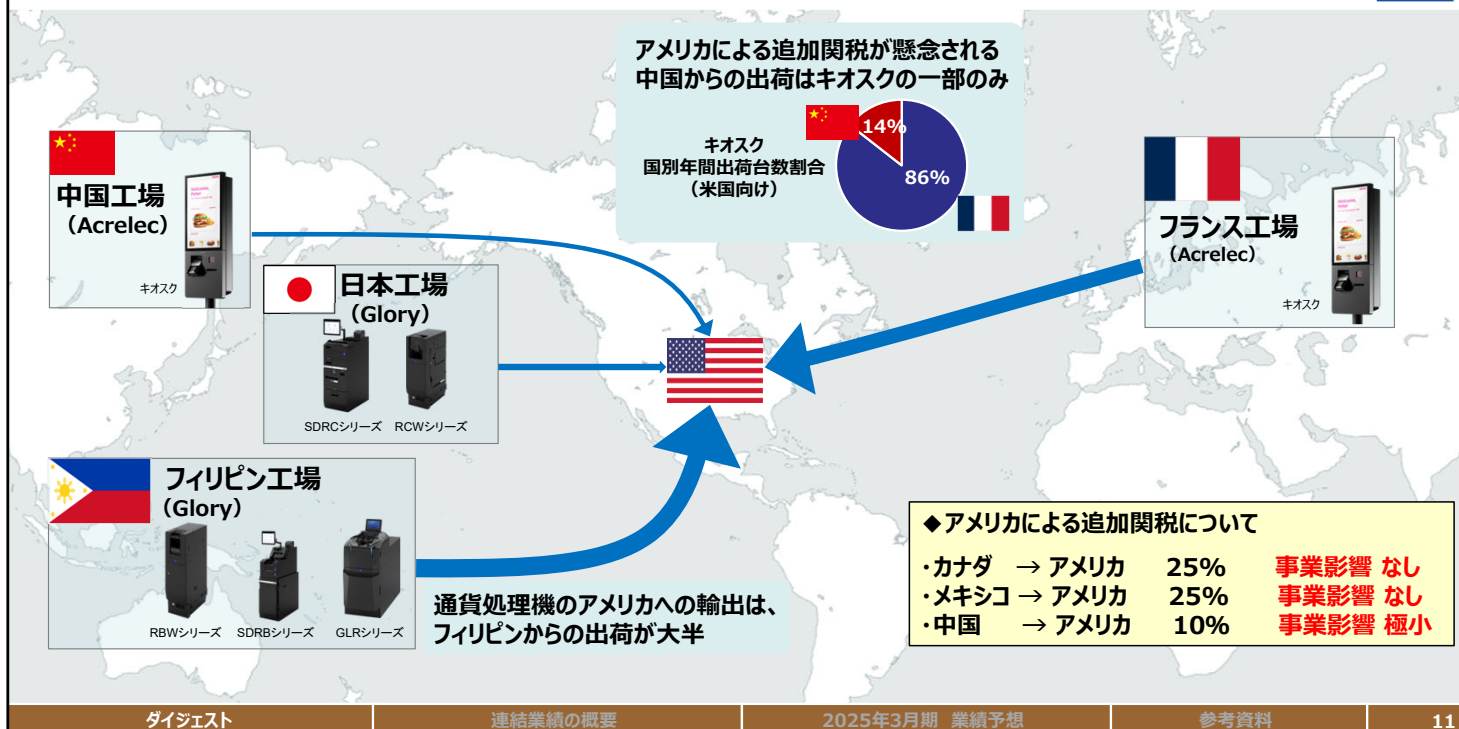
そのうち、上位4顧客への売上高は75%を占めており、どちらの製品も毎年順調に販売が増加
 業務効率化や収益拡大を目的に、これらの製品を導入するファストフードチェーンは増加傾向
 近年は4社以外の大手顧客への販売や商談件数も増加

また、キオスク、ドライブスルーの他にもスライド右側の通りDXソリューションを提供しており、これらを活用することにより飲食店の店舗運営の効率化を実現

今後もアクレック社はファストフードチェーンのテクノロジーパートナーとして店舗運営のトータルソリューションを提供し事業拡大を図る

トピックス5 アメリカへの製品輸出状況

GLORY



トピックス5 「アメリカへの輸出状況について」

当社の重要販売地域の一つである米国へは、通貨処理機やキオスクを輸出
通貨処理機は日本、フィリピンから輸出しているが、フィリピン工場からの出荷が大半を占める
また、キオスクはアクレレック社のフランス工場及び中国工場から出荷しており、そのうちフランスからの出荷
が8割以上

アメリカによる追加関税が発表された3カ国のうち、カナダ、メキシコからの出荷はなく事業への影響は
ない。

また、中国からキオスクの出荷があるが、出荷量は少なく事業への影響は軽微
今後もアメリカの経済政策を注視し、臨機応変な対応により事業への影響軽減を図る

2025年3月期 第3四半期累計期間

2

決算概要

執行役員 経営戦略本部長 田中 千也

「2025年3月期 第3四半期累計期間の決算概要」

説明者：経営戦略本部長 田中 千也

2025年3月期 第3四半期累計期間 実績 損益計算書

GLORY

売上高

新紙幣対応、及び海外リテール市場向けソリューション等の販売増加

利益

金融市場において前年度発生した、利益率が高い新紙幣対応に伴う改造作業が減少し、営業減益利払いや為替差損等が発生し経常利益・純利益も減少

億円	第3四半期累計期間				前年同期比	期初予想進捗率 年間
	2024年3月期	売上高 比率	2025年3月期	売上高 比率		
売上高	2,597	100.0%	2,800	100.0%	+203 +7.8%	84.8%
保守売上高	1,019	39.2%	1,015	36.3%	-4 -0.4%	99.5%
営業利益	353	13.6%	293	10.5%	-60 -17.0%	133.2%
経常利益	337	13.0%	224	8.0%	-113 -33.5%	117.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	209	8.0%	125	4.5%	-84 -40.2%	125.0%
EBITDA	505	19.4%	471	16.8%	-34 -6.7%	107.5%
為替 レート	ドル		143 円		153 円	
	ユーロ		155 円		165 円	

ダイジェスト

連結業績の概要

2025年3月期 業績予想

参考資料

13

「2025年3月期 第3四半期累計期間実績：損益計算書」

第3四半期累計期間は、前年同期比で増収減益となり、売上高は過去最高

- ・売上高 2,800億円（前年同期比 +203億円）
- ・営業利益 293億円（前年同期比 -60億円）
- ・経常利益 224億円（前年同期比 -113億円）
- ・親会社株主に帰属する四半期純利益 125億円（前年同期比 -84億円）

（売上高）

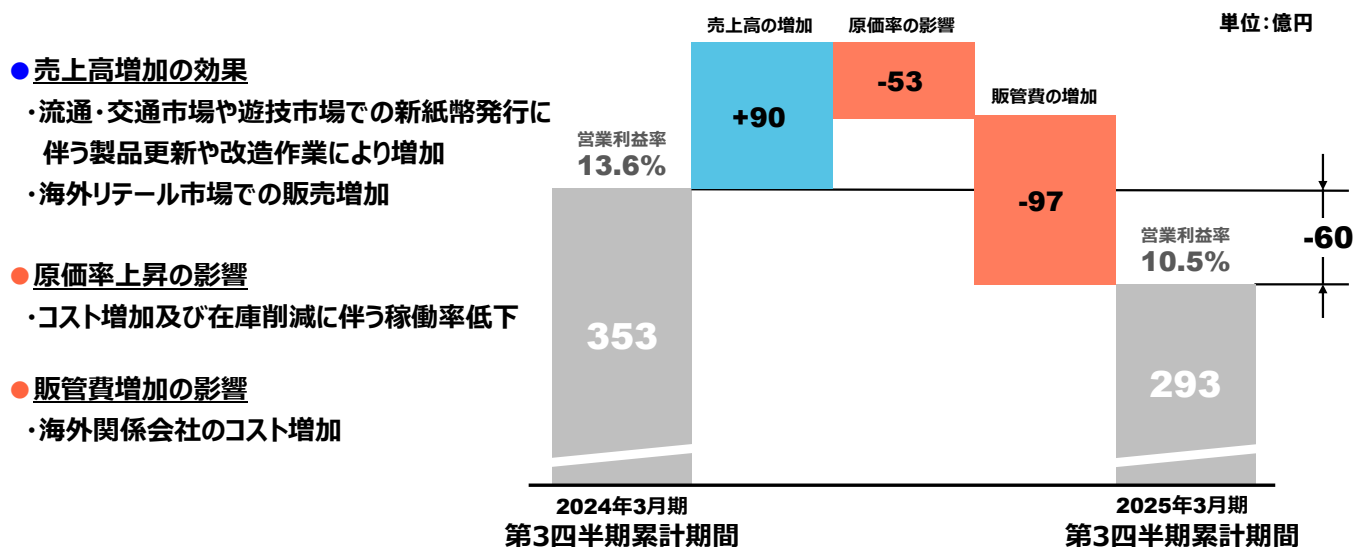
国内では中間期までに新紙幣発行に伴う製品の更新や改造作業が拡大。また、海外リテール市場向けソリューションの販売増加等により、前年同期比+7.8%で推移

（営業利益）

営業利益は、金融市場では前期の新紙幣発行に伴う改造作業の減少の影響を受け減益。また、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益については、利払いや為替差損の発生等により減益

2025年3月期 第3四半期累計期間 実績 営業利益 増減要因

GLORY



ダイジェスト

連結業績の概要

2025年3月期 業績予想

参考資料

14

「営業利益の増減要因」

(増益要因)

・売上高の増加による効果 **90億円**

(減益要因)

・在庫削減による原価率上昇の影響 **53億円**

・販管費の増加 **97億円**

販管費増加の主な要因：人件費の増加に加え、円安影響により海外のコストが増加

・営業利益 **293億円** (前年同期比 -60億円)

2025年3月期 第3四半期累計期間 実績 セグメント別売上高・営業利益

億円	売上高				営業利益			
	第3四半期累計期間		前年同期比	期初予想進捗率 年間	第3四半期累計期間		前年同期比	期初予想進捗率 年間
	2024年3月期	2025年3月期			2024年3月期	2025年3月期		
海外市場	1,266	1,532	+266 +21.0 %	80%	20	44	+24 +120.0 %	49%
金融市場	556	425	-131 -23.6 %	85%	190	77	-113 -59.5 %	154%
流通・交通 市場	520	557	+37 +7.1 %	99%	71	97	+26 +36.6 %	388%
遊技市場	212	231	+19 +9.0 %	92%	74	76	+2 +2.7 %	117%
その他	42	53	+11 +26.2 %	76%	-3	-2	+1 -	-
合計	2,597	2,800	+203 +7.8 %	85%	353	293	-60 -17.0 %	133%

海外

欧米のリテール市場の好調を背景に増収。米州での収益も改善

国内

金融市場を除き増収増益、新紙幣発行に伴う製品更新や改造作業が想定より増加

のれん償却

第3四半期累計期間

のれん償却額64億円 → 【のれん償却前営業利益】 海外市場：108億円 連結合計：357億円

「セグメント別の売上高・営業利益」

（海外市場）

金融市場及びリテール市場ともに、人件費高騰や人手不足対応に伴うセルフ化ニーズが継続しており、製品・サービスの販売は順調

営業利益は、中間期以降米州において人件費や外部委託手数料などの一時的なコスト増加に対する改善が進み増益

（国内市場）

金融市場では、前期第3四半期までに新紙幣対応が集中していたこともあり、累計の売上高、利益は前期よりも減少

流通・交通市場、遊技市場では、今期に新紙幣対応の影響が大きく発生した為、製品・保守売上高ともに増加

海外市場

億円	第3四半期累計期間		前年同期比
	2024年3月期	2025年3月期	
売上高	1,266	1,532	+266 +21.0 %
売上高 構成比率	49%	55%	+6 pt
営業利益	20	44	+24 +120.0 %
営業利益率	1.6 %	2.9 %	+1.3 pt

製品以外	製品	営業利益
15	46	18
246	341	225
219	244	232
246	273	237
246	321	242

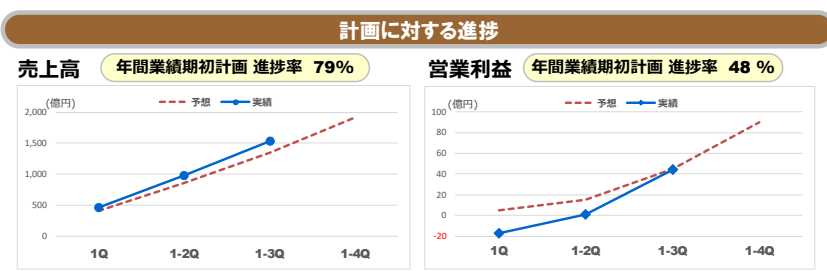
業績のポイント

【売上高】

- ・実績 各地域における需要拡大を受けて、増収
- ・要因 リテール市場向け製品の販売好調により前年を上回る進捗
- ・対策 引き続き、大口商談を中心に販売拡大を目指す

【営業利益】

- ・実績 各地域での販売好調を受け、増益
- ・要因 米国でのコスト改善が寄与
- ・対策 引き続き、販売拡大及び米国事業の収益性改善を図る



「海外市場」

・売上高 1,532億円（前年同期比 +266億円）

・営業利益 44億円（前期年同比 +24億円）

（売上高）

リテール市場のバックオフィス向け「CI シリーズ」の販売は、セルフ化ニーズが継続し好調
 GLRを始めとする金融市場向け「TCR」については、商談の延伸により低調
 また、保守売上の増加や円安に効果に加え、アクレック社の売上増加、フルイド社の連結会計への
 組入れ等により増収

（営業利益）

米州リテール事業において、保守の内製化が進展し利益が改善

地域別売上高 全体

億円	第3四半期累計機関		前年同期比		米ドルベース	期初予想進捗率 年間
	2024年3月期	2025年3月期				
米州	601	717	+116	+19.3%	+12.1%	75%
内 GGS	569	612	+43	+7.6%	+1.1%	73%
内 Acrelec	32	49	+17	+53.1%	+42.4%	88%
内 Flooid	-	56	+56	-	-	98%
欧州	551	675	+124	+22.5%	+15.2%	83%
内 GGS	291	333	+42	+14.4%	+7.6%	84%
内 Sitrade	105	129	+24	+22.9%	+14.9%	83%
内 Acrelec	155	177	+22	+14.2%	+7.7%	86%
内 Flooid	-	36	+36	-	-	68%
アジア	113	139	+26	+23.0%	+15.1%	87%
内 GGS	103	110	+7	+6.8%	+0.4%	79%
内 Acrelec	10	29	+19	+190.0%	+155.6%	145%
合計	1,266	1,532	+266	+21.0%	+13.7%	80%
内 GGS	963	1,055	+92	+9.6%	+3.0%	77%
内 Sitrade	105	129	+24	+22.9%	+14.9%	83%
内 Acrelec	198	256	+58	+29.3%	+21.4%	91%
内 Flooid	0	92	+92	-	-	84%

「海外地域別、会社別売上高」

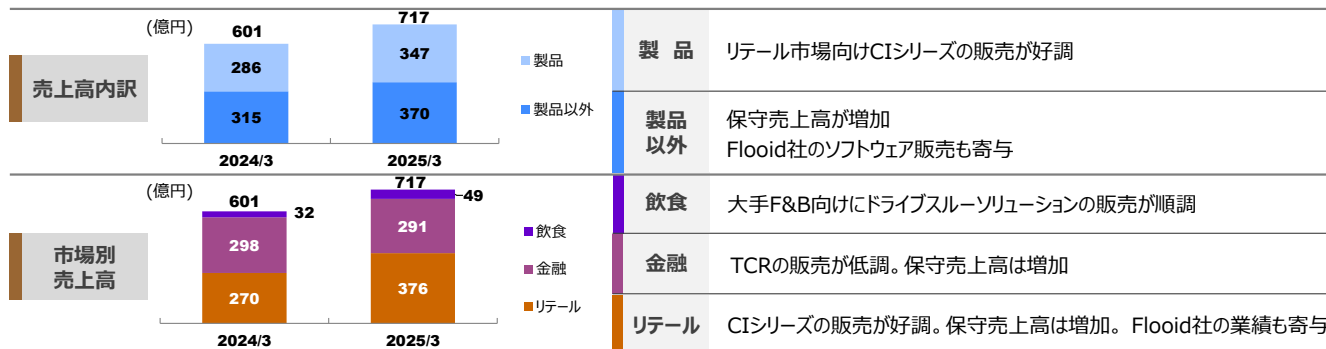
各地域、各社ともに、円ベースにおいて、前年同期を上回る結果
 為替影響を除いた、ドルベースで見た場合においても全ての地域で前年同期を上回る

地域別売上高 米州



億円	第3四半期累計機関		前年同期比	米ドルベース	期初予想進捗率 年間
	2024年3月期	2025年3月期			
米州	601	717	+116 +19.3 %	+12.1%	75%
内 GGS	569	612	+43 +7.6 %	+1.1%	73%
内 Acrelec	32	49	+17 +53.1 %	+42.4%	88%
内 Flooid	-	56	- - %	-	98%

市場動向・TOPICS
<ul style="list-style-type: none"> GGS Inc.と旧Revolution社との事業統合活動を推進 旧Revolution社の顧客である大手リテラーとの大口商談が順調に進捗



「海外 地域別売上高：米州」

(トピックス)

GGS Inc.と旧Revolution社との事業統合を推進しており、シナジーの一つとして旧Revolution顧客の大手リテラーとの大口商談によるRevolution製品から当社製品への置き換えが順調に進捗

(製品売上高)

製品売上高は、リテール市場のバックオフィス向け「CIシリーズ」の販売が好調
 保守売上高は、金融市場、リテール市場で増加

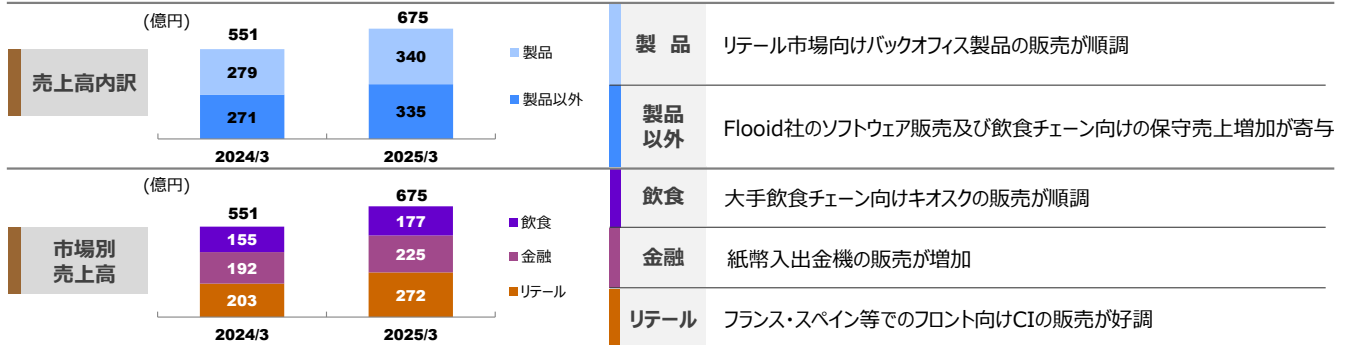
(市場別売上高)

飲食市場を担うアクレレック社のセルフサービスキオスクやドライブスルーの販売は好調
 金融市場向け製品の販売は低調
 リテール市場ではバックオフィス向け製品の販売が好調
 保守売上高の増加やフルイド社の連結会計組入れ等により増収

地域別売上高 欧州

億円	第3四半期累計期間		前年同期比	米ドルベース	期初予想進捗率 年間
	2024年3月期	2025年3月期			
欧州	551	675	+124 +22.5%	+15.2%	83%
内 GGS	291	333	+42 +14.4%	+7.6%	84%
内 Sitrade	105	129	+24 +22.9%	+14.9%	83%
内 Acrelec	155	177	+22 +14.2%	+7.7%	86%
内 Flooid	-	36	+36 -	-	68%

- ### 市場動向・TOPICS
- イタリアで金融機関向け大口案件を獲得
 - フランス、スペイン、ドイツでリテール向け製品の販売が好調
 - イギリス、トルコで金融市場向け製品の販売が好調



「海外 地域別売上高：欧州」

(製品売上高・市場別売上高)

全ての市場において、販売が順調に推移したほか、製品以外でも、保守売上やフルイド社のソフトウェア売上により増収

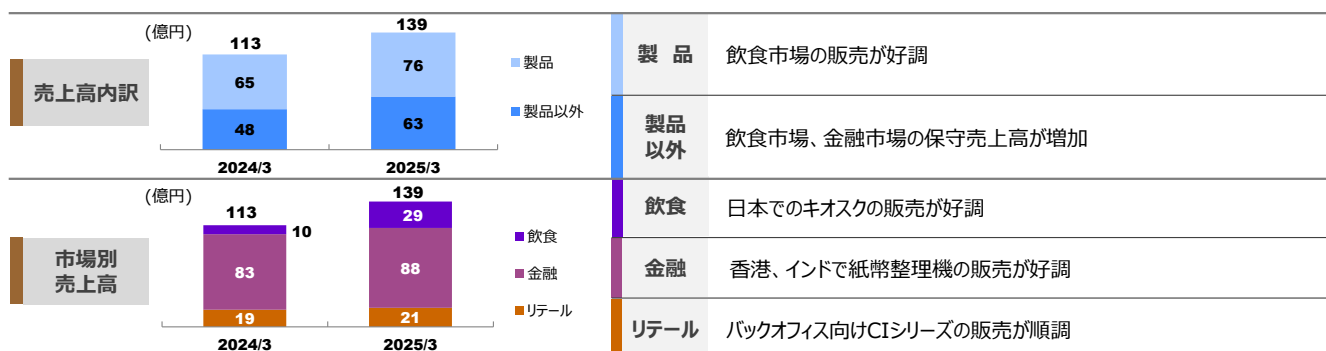
地域別売上高 アジア



億円	第3四半期累計機関		前年同期比	米ドルベース	期初予想進捗率 年間
	2024年3月期	2025年3月期			
アジア	113	139	+26 +23.0%	+15.1%	87%
内 GGS	103	110	+7 +6.8%	+0.4%	79%
内 Acrelec	10	29	+19 +190.0%	+155.6%	145%

- ### 市場動向・TOPICS
- 香港、インドで紙幣整理機の販売が好調
 - 人手不足に伴うニーズを背景に、セルフサービスキオスクの販売が好調

※Acrelec社の日本国内での売上を含む



「海外 地域別売上高：アジア」

(製品売上高)

飲食市場を中心に販売が増加し、製品以外でも各市場で保守売上高が増加

(市場別売上高)

飲食市場でアクレレック社のキオスクの販売が増加し、金融市場では紙幣整理機の販売が堅調
リテール市場向け「CIシリーズ」の販売は好調

アクレック社およびフルイド社の売上高



億円	第3四半期累計期間		前年同期比	期初予想進捗率 年間
	2024年3月期	2025年3月期		
売上高	198	256	+58	91%
米州	32 (16%)	49 (19%)	+17	88%
欧州	155 (78%)	177 (69%)	+22	86%
アジア	10 (5%)	29 (11%)	+19	145%
営業利益	5	16	+11	
のれん償却前				
のれん償却後	0	9	+9	

米州

大手F&Bグループへ
キオスクやドライブスルーの販売が順調

欧州

保守売上が堅調に推移

アジア

日本でのキオスクの販売が好調



億円	第3四半期累計期間		前年同期比	期初予想進捗率 年間
	2024年3月期	2025年3月期		
売上高		92	+92	84%
米州	- (0%)	56 (61%)	+56	98%
欧州	- (0%)	36 (39%)	+36	68%
営業利益		25	+25	
のれん償却前				
のれん償却後		14	+14	

米州

欧州

新規顧客との契約及び既存顧客との契約更新は順調に進捗
SaaS契約を中心に堅調な販売実績

「アクレック社、フルイド社の業績」

(アクレック社)

・売上高 **256億円** (前年同期比 +58億円)

米州：米国でセルフサービスキオスクの販売が順調に推移。大手F&B（フード・アンド・ビバレッジ）向けの大口商談も活発化

欧州：主要国であるドイツ、イギリスのファストフードチェーン等への販売が好調

アジア：日本、フィリピン、タイ等の大手ファストフードチェーン向けにセルフサービスキオスクの販売が進む

(フルイド社)

・売上高 **92億円**

欧米で新規商談が順調に進んでおり、注力市場である北米と英国を中心に、SaaS型POSの導入を推進するとともに利益率向上にも取り組む

億円	第3四半期累計期間		前年同期比
	2024年3月期	2025年3月期	
売上高	556	425	-131 -23.6 %
売上高構成比率	21%	15%	-6 pt
営業利益	190	77	-113 -59.5 %
営業利益率	34.2 %	18.1 %	-16.1 pt

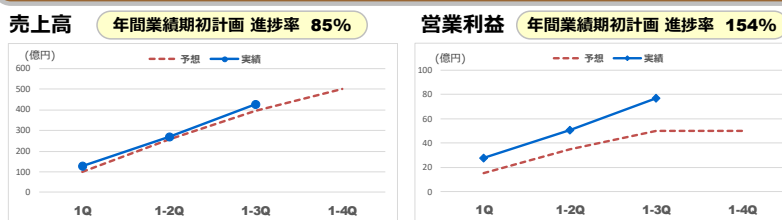
製品以外 (106), 製品 (51), 営業利益 (28)

期間	製品以外	製品	営業利益
2024年3月期 (3Q)	158	97	106
2024年4月期 (4Q)	154	73	51
2025年1月期 (1Q)	84	43	28
2025年2月期 (2Q)	109	31	22
2025年3月期 (3Q)	117	37	26

業績のポイント

- 【売上高】**
 - ・実績 主要製品WAVEの販売は堅調に推移したが、保守売上が減少
 - ・要因 大口案件の販売が計画通り進捗
 - ・対策 大口案件の確実な販売、及びセルフ化ソリューションの販売拡大
- 【営業利益】**
 - ・実績 新紙幣関連の売上高減少により減益
 - ・要因 新紙幣関連の製品更新・保守売上高の減少
 - ・対策 主要製品の確実な販売、及びセルフ化ソリューションの販売拡大

計画に対する進捗



ダイジェスト

連結業績の概要

2025年3月期 業績予想

参考資料

22

「金融市場」

・売上高 425億円 (前年同期比 -131億円)

・営業利益 77億円 (前年同期比 -113億円)

(売上高)

主要製品である「オープン出納システム」の売上は、郵政・JA向けの大型案件が順調に推移し前年同期比プラス1.6%と前期並み。新紙幣の発行に伴う販売の反動により、「窓口用紙幣硬貨入出金機」は前年同期比マイナス29.8%となり、保守売上高も減少

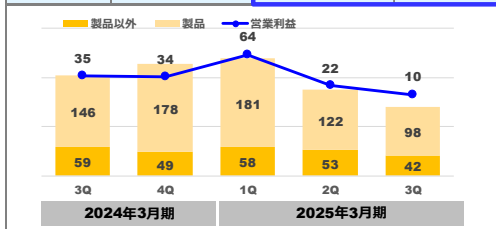
(営業利益)

新紙幣発行に伴う改造作業が一巡し保守売上高が減少した影響により減益

引き続き、大口受注の着実な納品、及びセルフ化ソリューションの販売拡大を推進

流通・交通市場

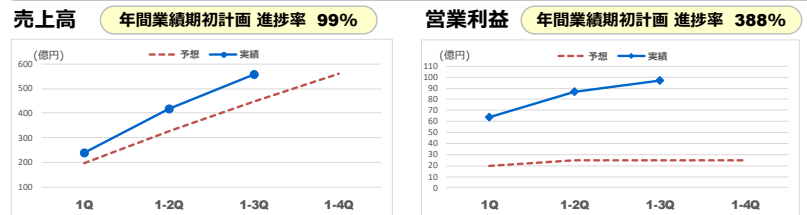
億円	第3四半期累計期間		前年同期比
	2024年3月期	2025年3月期	
売上高	520	557	+37 +7.1 %
売上高 構成比率	20%	20%	0 pt
営業利益	71	97	+26 +36.6 %
営業利益率	13.7 %	17.4 %	+3.7 pt



業績のポイント

- ・実績 新紙幣関連の需要拡大により増収
- 【売上高】 ・要因 上期に新紙幣関連の更新・改造需要が拡大、3Qから収束に向かう
- ・対策 セルフ化ソリューションの販売拡大
- ・実績 新紙幣関連、及び主要製品の売上高増加により増益
- 【営業利益】 ・要因 上期に利益率の高い新紙幣関連、及び主要製品の販売増加
- ・対策 セルフ化ニーズに対応した主要製品・ソリューションの販売拡大

計画に対する進捗



「流通・交通市場」

- ・売上高 557億円（前年同期比 +37億円）
- ・営業利益 97億円（前年同期比 +26億円）

（売上高）

上半期までに新紙幣関連の需要が一巡し、主要製品である「レジつり銭機」の売上は、前年同期比マイナス10.1%でしたが高水準を維持。新紙幣関連需要が遅れて発生した「券売機」の販売は前年同期比プラス42.1%と好調

（営業利益）

上半期まで製品売上高及び保守売上高の増加等により増益

第4四半期も的確な顧客対応により、セルフ化ソリューションの販売拡大を推進

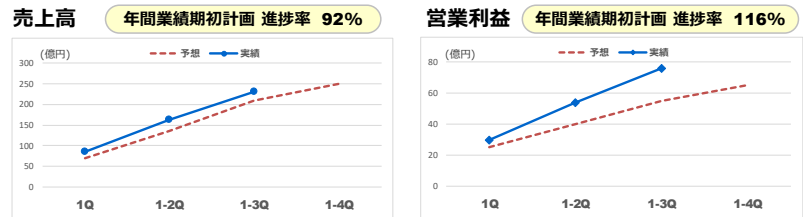
遊技市場

億円	第3四半期累計期間		前年同期比
	2024年3月期	2025年3月期	
売上高	212	231	+19 +9.0 %
売上高 構成比率	8%	8%	0 pt
営業利益	74	76	+2 +2.7 %
営業利益率	34.9 %	32.9 %	-2.0 pt

業績のポイント

- ・実績 新紙幣対応に伴う保守売上増加や周辺機器の販売増により増収
- 【売上高】 ・要因 上期に新紙幣関連需要が拡大、3Q以降は収束に向かう
- ・対策 スマート遊技機関連の需要注視
- ・実績 保守売上高の増加により増益
- 【営業利益】 ・要因 上期に利益率の高い製品・保守売上高が増加
- ・対策 スマート遊技機関連製品の利益率の維持向上を図る

計画に対する進捗



「遊技市場」

- ・売上高 231億円 (前年同期比 +19億円)
- ・営業利益 76億円 (前年同期比 +2億円)

(売上高)

主要製品である「カードシステム」は、スマート遊技機向けカードユニットの販売は前年同期並みの高水準を維持しており、上半期までに新紙幣対応に伴う保守売上高や周辺機器の販売が増加

(営業利益)

売上高の増加に伴い増益

第4四半期もスマート遊技機関連の需要を注視し、利益率の維持・向上を図る

2025年3月期 通期

3

連結業績予想

執行役員 経営戦略本部長 田中 千也

「2025年3月期 連結業績の予想」

説明者：経営戦略本部長 田中 千也

2025年3月期 事業環境の想定

海外市場

米州

大手リテーラーの設備投資意欲が高く需要は堅調に推移、アメリカの追加関税の影響なし

欧州

大手リテーラーでバックオフィス向け製品への更新需要が継続

アジア

金融機関の設備投資はやや低調

金融市場

少人数店舗運営をサポートする製品・サービスへの需要が根強い

流通・交通市場

新紙幣関連の需要はほぼ収束

小売・飲食店での人手不足が顕著で、セルフ型製品への需要は堅調に推移

遊技市場

新紙幣関連の需要はほぼ収束

スマート遊技機関連製品への需要は継続

「当社を取り巻く事業環境」

(海外市場)

大手リテーラーの設備投資意欲が高く需要は堅調に推移すると見込む

(国内市場)

金融市場では、金融機関の少人数店舗運営をサポートする製品・サービスに対する需要は根強い

流通・交通市場では、新紙幣関連の需要はほぼ収束したと認識。小売店・飲食店での人手不足に対応するためのセルフ化対応製品への需要は堅調に推移すると見込む

遊技市場では、スマート遊技機関連製品の需要は高い水準で続くと見込む。スマートパチンコの普及については、今後発売される新台の動向を注視

2025年3月期 通期 業績予想

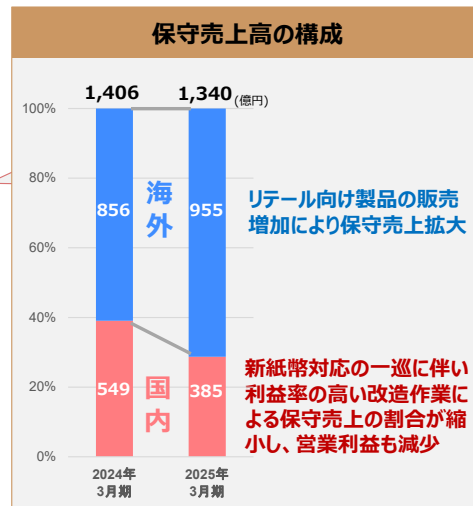
GLORY

売上高 海外リテール市場向けの販売増加を予想

業績予想値 上段：2024年11月 7日予想
下段：2025年 2月 6日予想

利益 金融市場で前期発生した改造作業などの新紙幣発行対応（特需）の反動により営業減益を予想

億円	通期				前期比
	2024年3月期	売上高比率	2025年3月期	売上高比率	
売上高	3,724	100.0%	3,620	100.0%	-24
保守売上高	1,406	37.8%	1,310	36.2%	-66
営業利益	512	13.7%	300	8.6%	-192
経常利益	484	13.0%	240	6.6%	-239
親会社株主に帰属する当期純利益	296	7.9%	130	3.6%	-161
EBITDA	722	19.4%	527	15.1%	-164
為替レート	ドル 145円		153円		
	ユーロ 157円		160円		



ダイジェスト

連結業績の概要

2025年3月期 業績予想

参考資料

27

「2025年3月期 通期業績予想」

今年度第3四半期累計期間の業績結果、及び市場動向、為替の影響を踏まえ中間期決算発表時に公表した予想を上方修正

- ・売上高 3,620億円 → **3,700億円** (前回予想比 + 80億円)
- ・営業利益 300億円 → **320億円** (前回予想比 + 20億円)
- ・経常利益 245億円 → **240億円** (前回予想比 + 5億円)
- ・親会社株主に帰属する当期純利益 130億円 → **135億円** (前回予想比 + 5億円)

(保守売上高)

前期比では、海外で増加、国内で減少。このうち、国内では、新紙幣対応の一巡に伴い、改造作業による保守売上高が減少。これが大きな減益要因の一つ

(想定為替レート：第4四半期)

- ・ドル 145円 → 153円
- ・ユーロ 160円 (変更なし)

2025年3月期 通期 業績予想 セグメント別売上高・営業利益

億円	売上高			営業利益		
	通期		前期比	通期		前期比
	2024年3月期	2025年3月期予想		2024年3月期	2025年3月期予想	
海外市場	1,852	2,070 2,130	+278 +15.0 %	66	80 90	+24 +36.4 %
金融市場	784	520 535	-249 -31.8 %	241	62 67	-174 -72.2 %
流通・交通市場	747	685 685	-62 -8.3 %	105	88 88	-17 -16.2 %
遊技市場	282	280 280	-2 -0.7 %	100	75 80	-20 -20.0 %
その他	58	65 70	+12 +20.7 %	-1	-5 -5	-4 -
合計	3,724	3,620 3,700	-24 -0.6 %	512	300 320	-192 -37.5 %

業績予想値 上段：2024年11月 7日予想
下段：2025年 2月 6日予想

金融市場

大口案件の販売等はあるが、前年度の新紙幣関連の需要に対する反動減の影響が大きい

流通・交通市場

新紙幣関連の需要は3Qまでに収束するも、セルフ化ソリューションの販売拡大は継続

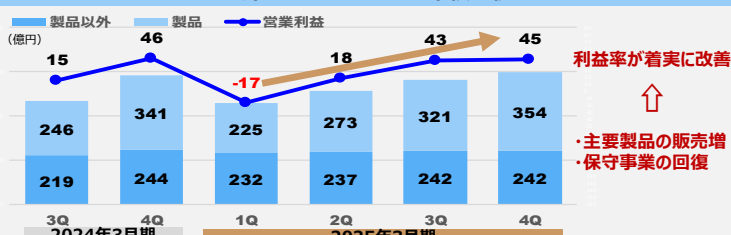
遊技市場

スマート遊技機向けカードシステムの需要の継続を見込む

海外市場

- ・ リテール、飲食市場を中心に大型案件の獲得などにより増収を見込む
- ・ 製品販売の増加に伴い保守売上も拡大
- ・ 米州での連結子会社間の保守事業内製化の進展等により利益率改善

海外市場の四半期毎の業績推移



ダイジェスト

連結業績の概要

2025年3月期 業績予想

参考資料

28

「セグメント別業績予想」

(海外市場)

大型案件の獲得による主要製品の販売増加や、それに伴う保守売上の拡大を見込む

また、米州における連結子会社間の事業統合や保守事業の内製化が進展し、利益率も着実に改善

・売上高は2,070億円から**2,130億円**

・営業利益は80億円から**90億円**

(金融市場)

・売上高は520億円から**535億円**

・営業利益は62億円から**67億円**

(流通・交通市場)

前回予想から修正なし

(遊技市場)

・売上高は前回予想を据え置き

・営業利益は75億円から**80億円**

2025年3月期 通期 業績予想 海外地域別売上高



億円	通期		前年同期比	米ドルベース	
	2024年3月期	2025年3月期予想			
米州	894	1,000 → 1,050	+156	+17.4%	+11.0%
内 GGS	835	893 → 928	+93	+11.1%	+5.1%
内 Acrolec	49	45 → 60	+11	+22.4%	+15.0%
内 Flooid	10	62 → 62	+52	+520.0%	+476.3%
欧州	794	885 → 890	+96	+12.1%	+5.8%
内 GGS	414	444 → 437	+23	+5.6%	-0.1%
内 Sitrade	138	163 → 175	+37	+26.8%	+19.7%
内 Acrolec	233	220 → 220	-13	-5.6%	-11.0%
内 Flooid	9	58 → 58	+49	+544.4%	+483.9%
アジア	163	185 → 190	+27	+16.6%	+10.0%
内 GGS	147	150 → 145	-2	-1.4%	-6.9%
内 Acrolec	16	35 → 45	+29	+181.3%	+163.4%
合計	1,852	2,070 → 2,130	+278	+15.0%	+8.7%
内 GGS	1,392	1,487 → 1,510	+118	+8.5%	+2.3%
内 Sitrade	138	163 → 175	+37	+26.8%	+19.7%
内 Acrolec	299	300 → 325	+26	+8.7%	+2.7%
内 Flooid	19	120 → 120	+101	+531.6%	+479.9%

億円	通期		前年同期比
	2024年3月期	2025年3月期予想	
売上高	299	325	+26
米州	49	60	+11
欧州	233	220	-13
アジア	16	45	+29
営業利益	10	16	+6
	3	7	+4



億円	通期		前年同期比
	2024年3月期	2025年3月期予想	
売上高	19	120	+101
米州	10	62	+52
欧州	9	58	+49
営業利益	0	26	+26
	-5	13	+18

※2024年3月期 第4四半期よりFlooid社を連結決算に組入れ

ダイジェスト

連結業績の概要

2025年3月期 業績予想

参考資料

29

「海外の地域別売上高」

欧米ではリテール市場向け、アジアでは飲食市場向けの販売が増加することを見込む
 アクレレック社、フルイド社についても、増収増益を見込む

参考資料

2025年3月期 第3四半期累計期間 実績

損益計算書・包括利益計算書

GLORY

(百万円)	第3四半期累計期間				増減
	2024年3月期	売上高比率	2025年3月期	売上高比率	
売上高	2,597	100.0%	2,800	100.0%	+203
売上原価	1,444	55.6%	1,611	57.5%	+167
販売費及び一般管理費	798	30.7%	895	32.0%	+97
営業利益	353	13.6%	293	10.5%	-60
営業外収益	9	0.3%	8	0.3%	-1
営業外費用	25	1.0%	77	2.8%	+52
経常利益	337	13.0%	224	8.0%	-113
特別利益	2	0.1%	6	0.2%	+4
特別損失	16	0.6%	7	0.3%	-9
税金等調整前四半期純利益	322	12.4%	223	8.0%	-99
法人税等	110	4.2%	94	3.4%	-16
四半期純利益	212	8.2%	129	4.6%	-83
親会社株主に帰属する 当期純利益	209	8.0%	125	4.5%	-84
四半期純利益	212	8.2%	129	4.6%	-83
その他有価証券評価差額金	5		-2		-7
為替換算調整勘定	80		-16		-96
退職給付に係る調整額	-8		48		+56
その他の包括利益合計	78	3.0%	29	1.0%	-49
包括利益	290	11.2%	159	5.7%	-131

2025年3月期 第3四半期累計期間 実績 貸借対照表

GLORY

(億円)	2024年3月末	2024年12月末	増 減	(億円)	2024年3月末	2024年12月末	増 減
現預金・有価証券	352	392	+40	買掛債務	275	230	-45
売掛債権	900	737	-163	短期借入金	439	231	-208
棚卸し資産	1,110	1,053	-57	その他	895	706	-189
その他	71	0	-71	流動負債合計	1,610	1,168	-442
流動資産合計	2,434	2,281	-153	長期借入金	370	398	+28
有形固定資産	461	460	-1	その他	402	567	+165
顧客関係資産	268	352	+84	固定負債合計	772	966	+194
のれん	841	710	-131	負債合計	2,383	2,135	-248
その他	80	133	+53	資本金	128	128	0
無形固定資産	1,190	1,196	+6	利益剰余金	1,670	1,718	+48
投資その他の資産	583	566	-17	その他	489	523	+34
固定資産合計	2,236	2,223	-13	純資産合計	2,287	2,369	+82
資産合計	4,670	4,505	-165	負債純資産合計	4,670	4,505	-165

2025年3月期 第3四半期累計期間 実績 設備投資他



億円	第3四半期累計期間		前年同期比	四半期毎の推移				
	2024年3月期	2025年3月期		FY23 (3Q)	FY23 (4Q)	FY24 (1Q)	FY24 (2Q)	FY24 (3Q)
設備投資額	84	86	+2 +2.4%	28	48	33	27	26
減価償却費	98	113	+15 +15.3%	35	35	35	34	44
研究開発費	138	142	+4 +2.9%	49	57	45	48	49

2025年3月期 第3四半期 実績 セグメント別売上高・営業利益の推移



億円	売上高			営業利益		
	第3四半期		前年同期比	第3四半期		前年同期比
	2024年3月期	2025年3月期		2024年3月期	2025年3月期	
海外市場	467	564	+97 +20.8%	15	43	+28 +186.7%
金融市場	256	156	-100 -39.1%	107	26	-81 -75.7%
流通・交通 市場	206	141	-65 -31.6%	36	10	-26 -72.2%
遊技市場	76	68	-8 -10.5%	28	22	-6 -21.4%
その他	16	20	+4 +25.0%	-1	0	+1 -
合計	1,019	950	-69 -6.8%	186	102	-84 -45.2%

2025年3月期 下半期 業績予想

セグメント別売上高・営業利益

GLORY

上段：売上高
下段：営業利益

億円	第3四半期累計期間		第4四半期		通期		前期比
	2024年3月期	2025年3月期	2024年3月期	2025年3月期予想	2024年3月期	2025年3月期予想	
海外市場	1,266 20	1,532 44	586 46	598 46	1,852 66	2,130 90	+278 +24
金融市場	556 190	425 77	228 51	110 -10	784 241	535 67	-249 -174
流通・交通市場	520 71	557 97	227 34	128 -9	747 105	685 88	-62 -17
遊技市場	212 74	231 76	70 26	49 4	282 100	280 80	-2 -20
その他	42 -3	53 -2	16 2	17 -3	58 -1	70 -5	+12 -4
合計	2,597 353	2,800 293	1,127 159	900 27	3,724 512	3,700 320	-24 -192

海外市場 欧米主要国の大手リテーラー、F&B等の設備投資意欲は高く、リテール市場の拡大を見込む

金融市場 セルフ化ニーズに対応したソリューション提案の推進と共に主要製品の更新需要の獲得を目指す

流通・交通市場 セルフ化ニーズが継続することを予想しており、セルフ型製品の販売拡大を目指す

遊技市場 スマート遊技機関連製品の需要継続を予想しており、カードシステムの販売拡大を目指す

ダイジェスト

連結業績の概要

2025年3月期 業績予想

参考資料

35

2025年3月期 下半期 業績予想 海外地域別売上高

億円	第3四半期累計期間		第4四半期		通 期		
	2024年3月期	2025年3月期	2024年3月期	2025年3月期予想	2024年3月期	2025年3月期予想	前期比
米州	601	717	293	333	894	1,050	+156
内 GGS	569	612	266	316	835	928	+93
内 Acrelec	32	49	17	11	49	60	+11
内 Flooid	-	56	-	6	10	62	+52
欧州	551	675	243	215	794	890	+96
内 GGS	291	333	123	104	414	437	+23
内 Sitrade	105	129	33	46	138	175	+37
内 Acrelec	155	177	78	43	233	220	-13
内 Flooid	-	36	-	22	9	58	+49
アジア	113	139	50	51	163	190	+27
内 GGS	103	110	44	35	147	145	-2
内 Acrelec	10	29	6	16	16	45	+29
合 計	1,266	1,532	586	598	1,852	2,130	+278
内 GGS	963	1,055	433	455	1,396	1,510	+114
内 Sitrade	105	129	33	46	138	175	+37
内 Acrelec	198	256	101	69	299	325	+26
内 Flooid	0	92	19	28	19	120	+101

2025年3月期 通期 業績予想 設備投資など



億円	通期		前期比	半期毎の推移			
	2024年3月期	2025年3月期予想		FY23 1H	FY23 2H	FY24 1H	FY24 2H (予)
設備投資額	132	120	-12 -9.1%	57	75	60	60
減価償却費	133	145	+12 +9.0%	63	70	69	76
研究開発費	195	190	-5 -2.6%	90	105	93	97
配当 (円)	106	108	+2 円	40	66	54	54

戦略投資（2020年～2024年）



海外市場		リテール		飲食	金融
買収/提携	企業名	Flooid Topco Limited	Revolution Retail Systems, LLC	Acrelec Group S.A.S	Unified Financial Limited (OneBanx)
	金額	310億円	210億円	242億円	非公開
時期		2024年1月	2021年11月	2020年4月	2023年6月（子会社化）
本社		英国	米国	フランス	英国
ソリューション		・小売店向けユニファイド・コマース・プラットフォームの提供	・米国バックオフィス向け貨幣処理機の開発・販売・サービス	・店舗運営プラットフォーム ・ノンキャッシュ決済 ・ユーザーエクスペリエンス	・キャッシュ・アクセスポイントの拡大 ・シェアードバンキング・プラットフォームの提供
シナジー		・リカーリングビジネスの拡大 ・店舗自動化ソリューションの強化、拡大	・両社の販路を活用した製品・サービスのクロスセル ・米国 顧客基盤のすそ野拡大 2024年4月 GGS Inc.と経営統合	・グローバルF&Bへのレジフリー機種の販売拡大 ・グローリー保有技術との融合による新たなサービスの創造	・新たな金融サービスの創出 ・入金機種の販売拡大

国内市場		リテール	飲食	ヘルスケア市場	全市場	
買収/提携	企業名	TOUCH TO GO	ショーケース・ギグ <small>2024年10月追加出資により子会社化</small>	アドインテ	エコナビスタ	タイムリープ
	金額	非公開	非公開	非公開	非公開	非公開
時期		2021年10月	2024年10月	2020年5月	2022年8月	2024年7月
本社		東京都	東京都	京都府	東京都	東京都
ソリューション		・無人決済システムソリューションの提供	・集客・創客につながる顧客・店舗分析・施策の提案 ・データ活用によるサービス提供	・小売店および飲食店の来店客分析を通じた集客力の向上 ・Webターゲティング広告	「ライフリズムナビ+Dr.」にグローリーの画像認識技術を組み合わせたソリューションの提供	「RURA」を使った遠隔接客や、接客画面を通して機器の遠隔操作を行うサービスの提供
シナジー		・グローリー製品・サービスとの連携による決済の効率化 ・行動・購買データを活用した新たなマーケティングサービスの創出	・集客・創客につながる顧客・店舗分析・施策の提案 ・グローリーとSCG社のデータ活用によるサービス提供	・店舗におけるCS改善や業務フロー改善のための分析・施策の提案 ・当社製品データとアドインテのデータ活用によるサービス提供	・両社の顧客基盤を活用したクロスセルによる市場シェアの拡大 ・両社の技術とデータの相互利用による新たなソリューション開発	・顧客の経営課題に応える遠隔接客サービスの提供 ・「RURA」を利用したグローリーの各種セルフ型製品のIoT化推進

用語集

セグメント	用語	解説	型式等	掲載ページ
海外市場	TCR	金融機関窓口向けの紙幣入出金機	GLR-100、200 RGB-100、200	P.18
	CIシリーズ	スーパーマーケット等向け紙幣硬貨入出金機 顧客の支払いに対応するタイプと、店員がバックヤードで売上金を入金する2種類の タイプがある	CI-10、CI-100 CI-10X、CI-100X	P.7、 P.18 - P.20
	セルフサービスキオスク	飲食店向けの情報処理端末 メニュー表示と注文・決済に対応	K22、K27、C27	P.9 - P.11 P.19 - P.21
金融市場	UCP	「ユニファイド・コマース・プラットフォーム」の略語 複数の販売チャネルを一つのプラットフォームに統合し、消費者にスムーズな購入体 験を提供する環境の総称		P.8
	WAVEシリーズ	銀行店内の現金入出金を一括管理する現金処理機 専任の出納担当者が必要とせず入出金処理が可能となったことから オープン出納システムの呼称がつく	WAVE Pro WAVE A	P.22
	オートキャシャー	国内金融機関窓口向けの紙幣・硬貨入出金機	RB-700	
流通・交通市場	レジつり銭機	スーパーや飲食店等でつり銭を自動で払い出す製品	RT/RAD-N300	
	売上金入金機	スーパーやショッピングセンター等のバックヤードに設置し、売上金を入金する製品	DSN、DSS	
遊技市場	スマート遊技機	玉やメダルが機外に投出されない遊技台。出玉はカウンターに表示される		P.24、P.26、P.28 P.35

<注意事項>

1. 本資料に記載されている、業績見通し等の将来に関する情報は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが含まれます。また、本資料の将来の見通しに関する記述につきましては、法律上その手続きが必要となる場合を除き、事前予告なく変更することもありますので、ご了承ください。
2. 当資料の増減率、構成比は、**千万円以下**を切り捨てた数値を基に算出しており、決算短信の増減率とは異なる場合があります。